

[従業員への責任と行動]

女性のための支援制度や国際的な人事交流など、
多様な人の多彩な働き方のための仕組みを整えています。

- 人権の尊重
- 人材育成
- 雇用の機会均等と職場の多様性
- 働きやすい環境づくり
- 従業員の知的財産権
- 従業員の安全と健康(労働安全衛生)



女性が輝く 職場づくりのために。

株式会社村田製作所
パワーモジュール商品事業部
伊崎 京子

制度が充実しているからこそ、
感謝の気持ちを忘れずにいたい。

私には子どもが2人いますが、それぞれの出産の際、産休・育休を取得しました。1回目のときは、初めての子どもができたのが嬉しくて、何も考えずに休職を申請したのですが、2回目のときは、少し迷いました。制度があるとはいっても、やはり職場に迷惑をかけているのではないかな。それなのに平気な顔をして復職していいのだろうか、と考えてしまったんです。当時の上司にメールで相談したところ、「2人目でも3人目でも、戻ってきてください」「ビジネスと母親・妻としての役割、うまく調整できる女性は素敵です」というような返信をいただきました。それで、安心して休むことができたのです。制度を利用することはできますが、その裏側では、だれかが無言でサポートしてくれています。両立支援や福利厚生の制度は、これから充実していくでしょうが、そうであればなおさらのこと、周囲に対する感謝の気持ちは大切です。私も、自分ができるときにはサポートする側に回りたいと思っています。

Comment

伊崎さんは、時間の使い方が上手です。現在も、短時間勤務制度を利用しながら家庭と仕事を見事に両立されています。業務時間の中では凝縮して仕事をこなしていて、そのはつらつとした仕事ぶりは、周囲にもいい影響を与えてくれています。

株式会社村田製作所 パワーモジュール商品事業部
写真左 高井 正司

ムラタはものづくりをする会社ですが、もっと突き詰めていえば、人づくりもしている会社だと思っています。価値観が多様化する中で、いろんな条件、いろんな立場の人が、それぞれの働き方を実践することが重要です。伊崎さんの働き方は、そのモデルのひとつだと思います。

株式会社村田製作所 パワーモジュール商品事業部
写真右 工藤 仁

グローバルローテーションで 国際的な人材育成を。

株式会社村田製作所
生産本部 生産システム部
呉志明(Wu Zhiming)

深く定着して習慣化された日本のものづくりの意識。
中国で、それを育てていきたい。

母国の大学では、外国語学部に所属して日本語を勉強していました。外国と関わる仕事をしたいという思いから、母校の先輩に就職先を相談したところ、無錫村田電子を紹介されました。無錫ムラタでは、まず設備関係の仕事に、後には現場改善の仕事に携わりました。無錫市にはムラタのほかにもさまざまな日系企業が立地しており、市の経済を力強く牽引しています。その強さの秘密はどこにあるのか、徹底的に究明しようと、日本への出向を志願しました。

日本では、約1年間出雲ムラタで生産革新活動を担当してきました。生産革新活動とは、ものづくりのレベルを大きく引き上げて、強い競争力につなげること。受注からお客様に納入するまでのサプライチェーン全体のプロセスに視野を広げ、プロセス全体として物と情報の淀みない流れをつくる。そして、従来の限界・

常識を打破して無駄を徹底的に排除し、それを継続して取り組むことが柱となります。無錫ムラタでも、同じセオリーで生産革新活動を推進していますが、日本の工場と海外拠点とではギャップがあります。何が違うのか？ 私は、そこには日本のスタッフが自然に身につけている“習慣”の力があると思います。人間は、95%は習慣で行動しているそうですが、無錫ムラタのものづくりが日本の工場と同じレベルになるには、細かいことを積み上げて、それが習慣になるまで継続していかなければなりません。それは、日本のコピーをつくることとは違います。無錫ムラタのメンバーに、生産革新活動の目的とやり方を伝え、「ムラタのものづくり力」を実現してさらに力を発揮していくこと。それが、これからの私の仕事になります。